

マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー

エム・エー

商品型番：**MA-89**



この度は「マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー | MA-89」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

●目次	2	●メディア・プレーヤー(USB/SD)	
●セット内容	2	■メディア・プレーヤー(USB/SD)の基本操作	14
●安全上のご注意	3	■記録メディア内の音楽ファイルを再生する	14
●使用上のご注意	4	■再生機能(リピート/ランダム再生)	15
●各部の名称	5、6	■プログラム機能	15
●ご使用前の準備	7	●外部入力	
●レコードプレーヤー		■外部機器の音声を聴く	16
■ご使用の前に	8	●音声出力	16
■レコードを聴く	8	●録音をする	
■45回転アダプタについて	9	■カセットテープへ録音する	17
■レコード針について	9	■USB/SDへ録音する①	レコード/カセット/ラジオ/外部入力 17、18
●CDプレーヤー		■USB/SDへ録音する② オーディオCD	18
■CDの基本操作	10	■USB/SDへ録音する③	音楽ファイルCD 19
■CDを聴く	10	■USB/SDへ録音する④	USBメモリ→SD、SD→USBメモリ 20
■再生機能(リピート/ランダム再生)	11	■録音した音楽ファイル削除する	21
■プログラム機能	11	●故障かな?と思ったら	22
●FM/AMラジオ		●主な仕様	23
■ラジオを聴く	12	●保証とアフターサービス	24
■ラジオ局を登録する	12		
●カセットテープ			
■カセットテープの基本操作	13		
■カセットテープを聴く	13		



セット内容

※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

- MA-89 本体 ●ACアダプタ ●AMラジオ用ループアンテナ
- 45回転レコード用アダプタ ※本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります。
- 交換用レコード針 × 1 ※取扱説明書の袋に同梱してあります。
- リモートコントローラー ●取扱説明書(本誌)

安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

- △ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
- ⊘ の記号は「してはならない行為(禁止事項)」を示します。
- の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。

注意

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

● 使用上のご注意

本機の手扱について

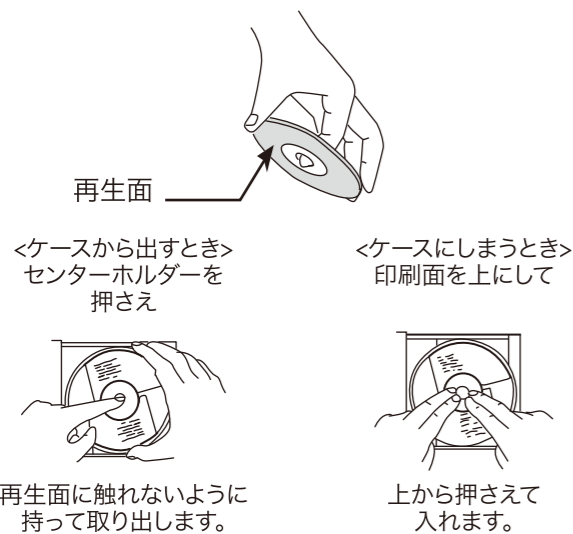
- 極端な湿度、日差しが強い場所には置かないでください。
- 窓を閉めきった自動車内での置かないでください。

結露について

本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク手扱い上のご注意

- ディスクの手扱い方
- ・ 再生面には手をふれないでください。



- ディスクの保管の仕方
- ・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿度やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 本機を持ち運びするときは
- ・ ディスクを必ず取出してください。
- 入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上の注意

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください、ディスクを痛める原因となります。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。



- ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。



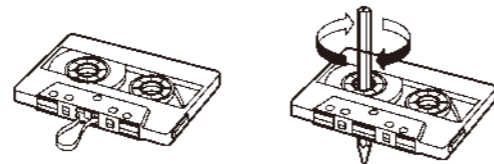
ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから、絶対に使用しないでください。
- CD-R/CD-RW に記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
- コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

カセットテープの手扱いについて

- 再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので使いすぎにはご注意ください。
- 先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
- テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

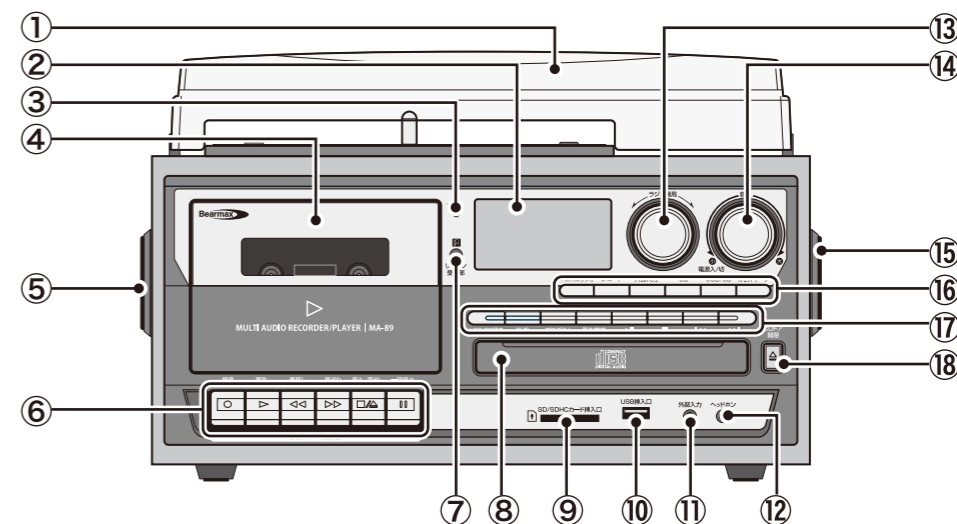


- 古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので使用しないでください。
- テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻戻ししてください。
- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
- 60分以上の長時間テープはご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。
- TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。

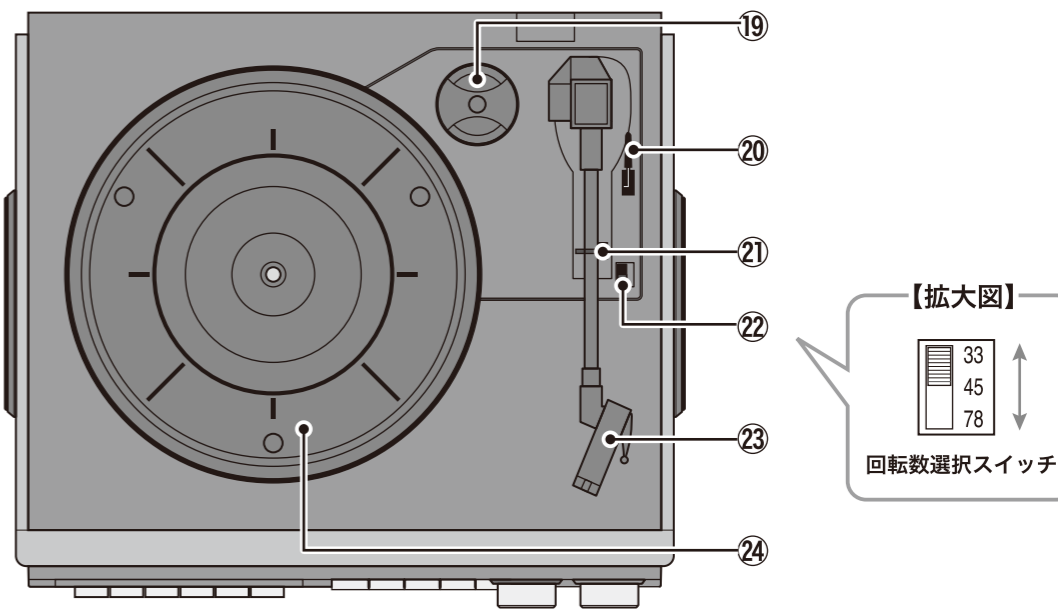
<大切な録音を守る一誤消去防止>
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

● 各部の名称

【本体正面図】



【本体上面図】



- ①レコードプレーヤー・カバー
- ②液晶表示部
- ③電源インジケーター
- ④カセットテープドア
- ⑤スピーカー
- ⑥カセットテープ操作部 ※左から
 - ⑥-①録音ボタン
 - ⑥-②再生ボタン
 - ⑥-③巻戻しボタン
 - ⑥-④早送りボタン
 - ⑥-⑤停止/取出しボタン
 - ⑥-⑥一時停止ボタン
- ⑦リモコン受信部
- ⑧CDドア
- ⑨SD/SDHCカード挿入口

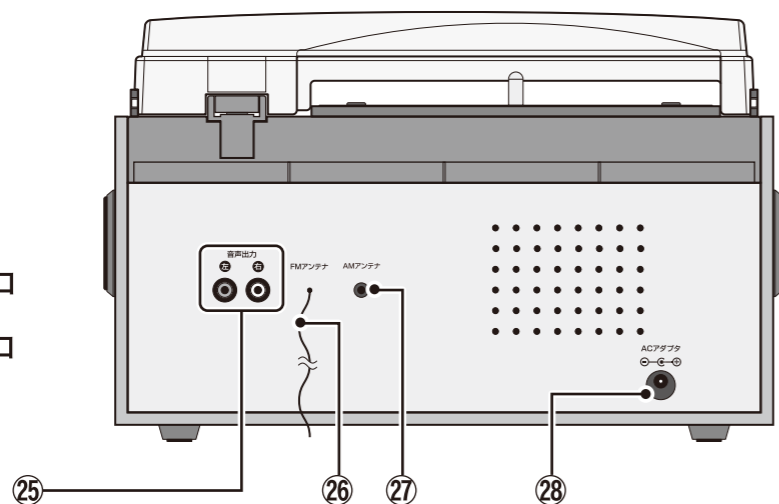
- ⑩USB挿入口
- ⑪外部入力端子
- ⑫ヘッドホン端子
- ⑬ラジオ選局ツマミ
- ⑭音量調整ツマミ
- ⑮スピーカー
- ⑯機能切替部 ※左から
 - ⑯-①FM/AMラジオ
 - ⑯-②レコード
 - ⑯-③外部入力
 - ⑯-④CD
 - ⑯-⑤USB/SD
 - ⑯-⑥カセットテープ
- ⑰CD/USB/SD操作部 ※左から
 - ⑰-①USB/SD録音

- ⑰-②削除
- ⑰-③プログラム
- ⑰-④再生機能
- ⑰-⑤再生/一時停止
- ⑰-⑥停止
- ⑰-⑦前スキップ
- ⑰-⑧次スキップ
- ⑱CDドア開閉ボタン
- ⑲45回転用アダプタ
- ⑳リフトレバー
- ㉑アームレスト
- ㉒回転数選択スイッチ
- ㉓アーム
- ㉔ターンテーブル

各部の名称

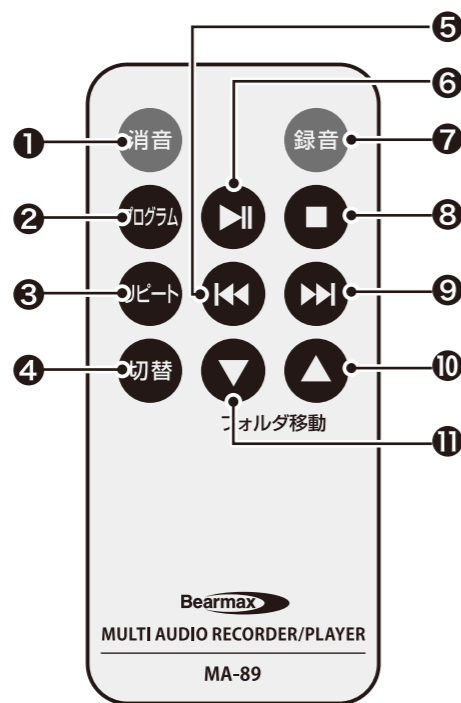
【本体背面図】

- ⑫音声出力端子
- ⑬FM アンテナ
- ⑭AMアンテナ差込口
- ⑮ACアダプタ差込口



【リモートコントローラー】

- ①消音
- ②プログラム
- ③リピート
- ④切替 (CD/USB/SD)
- ⑤前スキップボタン
- ⑥再生/一時停止
- ⑦録音
- ⑧停止ボタン
- ⑨次スキップボタン
- ⑩次フォルダ移動
- ⑪前フォルダ移動

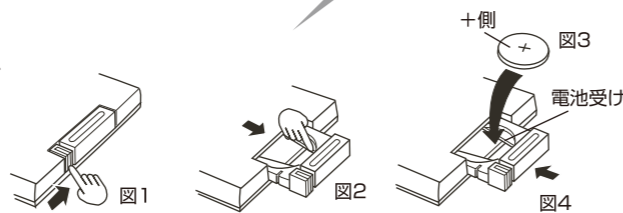


【電池について】

本製品のリモコンで使用する電池の型番は「CR2025」です。お求めの際は型番をお間違えない様ご注意ください。

■電池の交換方法

1. リモコンの裏面にあるタブを矢印の方向に引きながら、電池受けを引き出します。(図 1/2)
2. ボタン電池「CR2025」を、+プラス側を上にして電池受けに入れます。(図 3)
3. 電池受けを元に戻します。(図 4)



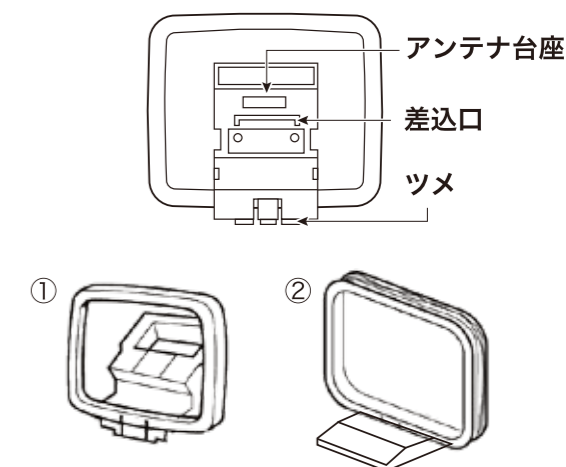
※購入後初めてリモコンをお使いになるときは、本体下面についている透明なタグを引き抜いて下さい。リモコンに内蔵されている電池が通電されリモコンが使用できるようになります。

ご使用前の準備

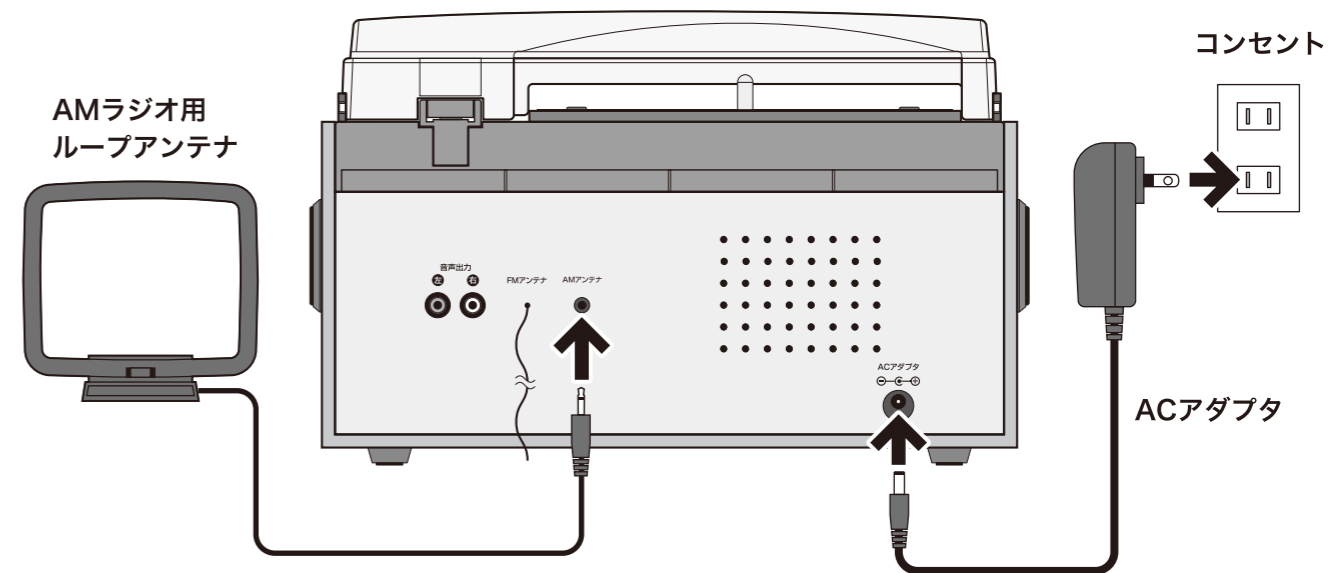
■設置する

- 1 本体を箱から取出し、硬く平らな場所に置きます。
※①レコードプレーヤー・カバーがきちんと開くように設置場所の上部も十分に空間を取ってください。
- 2 AMラジオ用ループアンテナを組み立てます。
- 3 本体背面の⑭AMアンテナ差込口にAMラジオ用ループアンテナの端子を差し込みます。
- 4 本体背面の⑮ACアダプタ差込口にACアダプタの端子を差し込みます。
- 5 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

●AMラジオ用ループアンテナの組み立て方

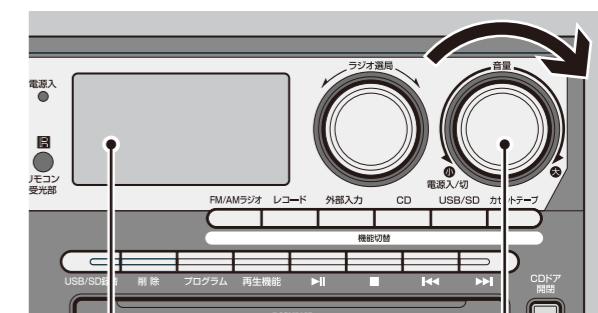


- ①台座部分を折り線に沿って倒す様に折り曲げ
- ②ツメを差込口に差し込みます。



■電源の入切

- 1 本体前面⑭音量調整ツマミを右に回し、電源を入れます。
- 2 電源が入ると②液晶表示部が青く点灯します。
- 3 電源を切る時は⑭音量調整ツマミを左に回します。電源が切れると②液晶表示部は消灯します。



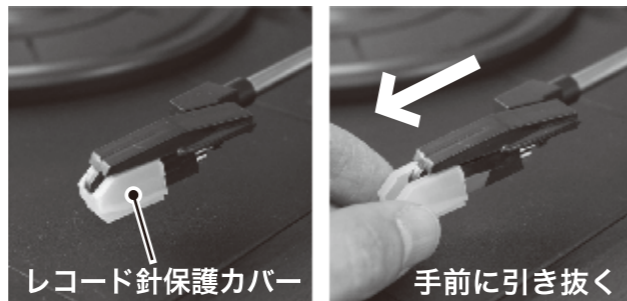
- 7 青く点灯
- 6 右に回す

レコードプレーヤー

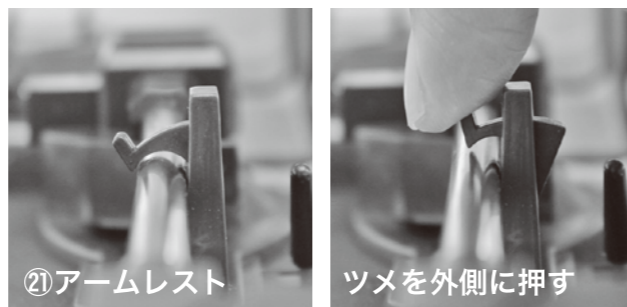
■ご使用の前に

- ①レコードプレーヤー・カバーを開けます。
- ②③アーム先端のカートリッジに付いているレコード針保護カバーを外します。(右写真)
- 再生するレコード盤の回転数に応じて②回転数選択スイッチを設定します。
- ④ターンテーブルにレコードを置きます。
- ⑤①アームレストの固定用のツメを外側に押し②③アームのロックを解除します。

●レコード針保護カバーを外す



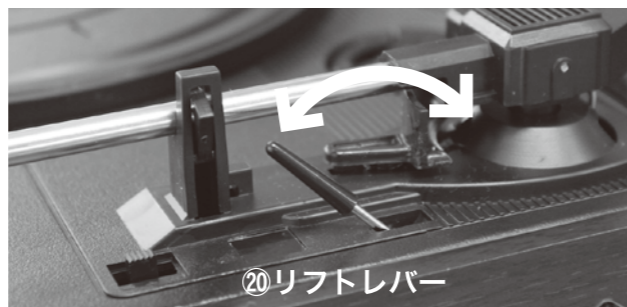
●アームのロック解除



●液晶表示



●アームの上げ下げ



■レコードを聴く

- ①⑥機能切替部の①⑥-②レコードボタンを押します。

※②液晶表示部に“PHONO”と表示されている事をご確認ください。

- ②⑩リフトレバーを奥側に倒すと、②③アームが上がります。
- カートリッジのつまみを持ち、②③アームをゆっくりとターンテーブル側に動かします。
- ②③アームを任意の位置で合わせ、②⑩リフトレバーを前側に倒すと、針がレコード盤の上になり、レコードが再生します。
- ④⑭音量調整つまみを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を終了する場合は、②⑩リフトレバーを奥側に倒して②③アームを上げます。
※レコードは自動では停止しません。
- ②③アームを②①アームレストに戻し、②⑩リフトレバーを前側に倒します。



注意

※ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
※レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。

■45回転用アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の①⑨45回転用アダプタを使用してください。



■レコード針について

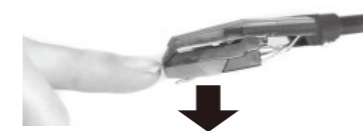
○針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

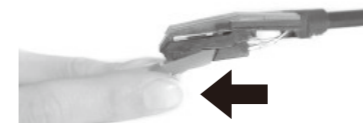
○針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、約200時間を目安に針を交換してください。 ※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方



- ①針ホルダを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。



- ②前方へ引き抜きます。

針の入れ方



- ①矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



- ②クリック感のあるところまで上に引き上げます。

●交換用レコード針をお求めのお客様へ

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエイム】TEL：045-473-0002 【直販サイト】<http://www.bearmax.jp>

■CDの基本操作

- ⑰-③次スキップ：単押し⇒次の曲の頭出し、長押し⇒早送り
- ⑰-⑦前スキップ：単押し⇒前の曲の頭出し、長押し⇒早戻し



⑰CD/USB/SD 操作部 拡大図 ▲

■CDを聴く

- ⑰機能切替部の⑰-④CDボタンを押します。
- ②液晶表示部に「CD」→「REPAIRING」→「NO DISC」が順に表示されている事を確認します。
※CDがすでに入っている場合は「CD」→「REPAIRING」となってから自動的に再生します。
- ⑱CDドア開閉ボタンを押してCDトレイを開けます。
※②液晶表示部には「OPEN」と表示されます。
- お手持ちのCDをCDトレイに置き、⑱CDドア開閉ボタンを押してCDトレイを閉じます。
※②液晶表示部には「CLOSE」と表示されます。
- CDを読み込み、自動的に再生します。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑰-⑥停止ボタンを押します。



※本機のCDプレーヤーは、オーディオCDまたはMP3、WMA以外のファイル形式はサポート対象外となります。

■再生機能(リピート/ランダム再生)

再生中に⑰-④再生機能ボタンを押す事でリピート(繰り返し)、ランダム再生を設定出来ます。

【オーディオCDの場合】

ボタン	動作	画面表示
1回押し	一曲リピート	🔄
2回押し	全曲リピート	🔄 ALL
3回押し	ランダム	RANDOM

【音楽ファイル(MP3/WMAの場合)】

ボタン	動作	画面表示
1回押し	一曲リピート	🔄
2回押し	フォルダリピート	[FOLDER]
3回押し	全曲リピート	🔄 ALL
4回押し	ランダム	RANDOM

※フォルダリピート：ディスク内に複数のフォルダがある場合、選択したフォルダを繰り返し再生する機能です。(フォルダ内の曲は収録順に再生します。)

■プログラム再生

本製品はCDの曲をお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。
オーディオ形式の場合最大20曲、MP3形式の場合最大64曲まで、記憶する事が出来ます。

- P.10「■CDを聴く」の手順に従い、CDを挿入します。
- CDを読み込み、自動的に再生しますので、⑰-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- ⑰-③プログラムボタンを押します。②液晶表示部に「PROG」が点滅し「P01」が表示されます。
- ⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押しお好みの曲番号を選択します。
- ⑰-③プログラムボタンを押し、1曲目のプログラムを完了させます。
- 液晶表示部に「PROG」点滅し「P02」と表示されますので、2曲目のプログラムを上記の手順に従い選びます。 ※以下同手順
- 設定が終わったら、⑰-⑥再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
※プログラム再生中は②液晶表示部に「PROG」が点灯しています。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑰-⑥停止ボタンを押します。
- もう一度⑰-⑥停止ボタンを押すと、プログラム再生が終了し液晶表示部の「PROG」が消えます。
※CDトレイを開けると、記憶されたプログラムは消去されます。

【プログラム再生中の操作】

- ※停止中に⑰-⑥再生/一時停止ボタンを押すと再生、再生中に押すと一時停止します。
- ※⑰-③次スキップボタンを押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。
- ※⑰-⑦前スキップボタンを押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。

FM/AM ラジオ

ラジオを聴く

- ①機能切替部の⑩-①FM/AMラジオボタンを押します。②液晶表示部にTUNERと表示され、FMの周波数が表示されます。
- FMをお聴きになりたい時は、そのまま次の手順へ進んでください。
AMをお聴きになりたい時は、もう一度⑩-①FM/AMラジオボタンを押します。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- ⑬ラジオ選局ツマミを左右いずれかに回し、受信したい局の周波数に合わせます。
※⑬ラジオ選局ツマミは右に回すと数字が進み、左に回すと戻ります。
※FMからAMに切り替えるまたは、AMからFMに切り替える時はTUNERは表示されません。

【ラジオアンテナについて】

AM: 付属のAMラジオ用ループアンテナを本体に接続して受信します。受信状態が悪い場合はAMラジオ用ループアンテナの角度や設置場所を変えると改善される場合があります。
※AMラジオ用ループアンテナについては、P.7をご参照ください。

FM: 本体背面から伸びている⑳FMアンテナ（ワイヤーアンテナ）で受信します。
受信状態が悪い場合はワイヤーアンテナの角度や方向を変えると、改善される場合があります。

FMステレオ: 電波状況の良い場所でFMを受信すると、自動的にステレオに切り替わり、②液晶表示部に（ ST ）と表示されます。

ラジオ局を登録する

本体に予め指定の受信局を登録する事ができます。（FM：20局／AM：10局まで）

- ⑬ラジオ選局ツマミを回しお好みの放送局を選択します。
- FMまたはAMモードで⑰-⑤プログラムボタンを押します。
- ②液晶表示部に“PROG”の文字が点灯し□1が点滅します。
- もう一度、⑰-⑤プログラムボタンを押すと、□1の点滅が点灯へ変わります。
- 2局目の放送局を登録する場合は、上記にならないお好みの放送局を選択します。
- ⑰-⑤プログラムボタンを押します。
- ②液晶表示部に“PROG”の文字が点灯し□2が点滅します。
- もう一度、⑰-⑤プログラムボタンを押すと、□2の点滅が点灯へ変わります。
- 番号を指定して登録する場合は、□1点滅時に⑰-⑦前スキップボタン、または⑰-⑧次スキップボタンで登録局を選択してください。
- 登録された放送局を選択する場合は、FMまたはAMモードで⑰-⑦前スキップボタン、または⑰-⑧次スキップボタンを押して、登録局を選択してください。

【自動選局で登録する】

放送局を自動で選局／登録する事が出来ます。⑰-⑤再生／一時停止ボタンを押すと自動選局が始まります。⑰-⑥停止ボタンを押すと自動選局は停止します。停止したところまで読み込まれた放送局が登録されます。

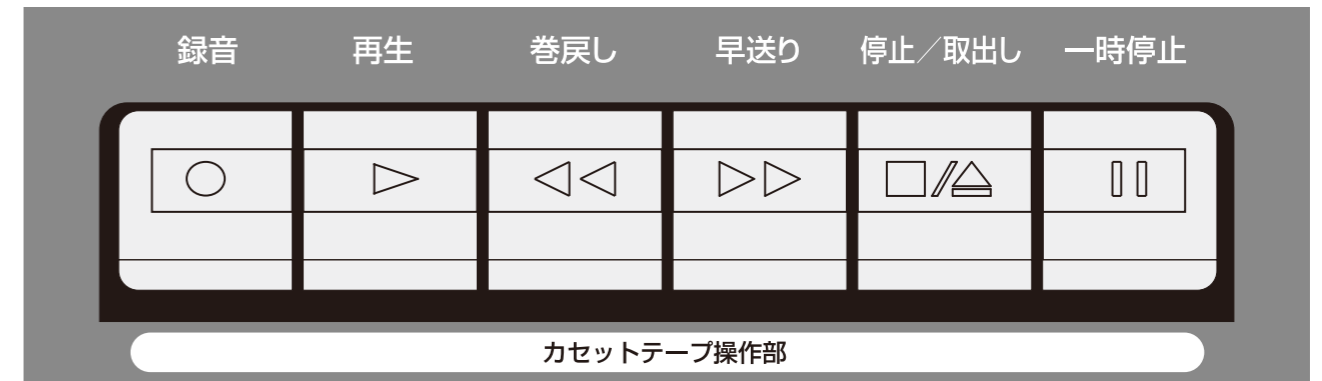
【登録をした放送局を削除する】

登録した放送局を削除するには、削除したい放送局に合わせ、⑰-②削除ボタンを押します。

カセットテープ

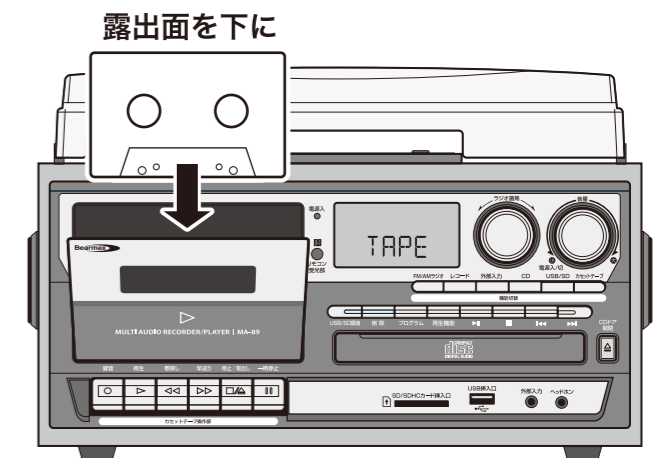
カセットテープの基本操作

⑥カセットテープ操作部 拡大図 ▼



カセットテープを聴く

- ①機能切替部の⑩-⑥カセットテープボタンを押します。
- ②液晶表示部にTAPEと表示されます。
- ⑥カセットテープ操作部の⑥-⑤停止/取出しボタンを押して、④カセットテープドアを開けます。
- お手持ちの音声の収録されているカセットテープを挿入します。
※カセットテープのテープ露出面を下にして挿入して下さい。（右図）
- ⑥-②再生ボタンを押して、再生します。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- ⑥-⑤停止/取出しボタンを押して再生を止めます。
※テープを最後まで巻き取ると自動的に停止します。
- ⑥-⑤停止/取出しボタンを押して、④カセットテープドアを開け、テープを取出します。



⑥-③巻戻しボタンと⑥-④早送りボタンを使って、お好みの場所から再生出来ます。
再生したい所までテープを巻き終えたら、⑥-⑤停止/取出しボタンを押して、巻戻し/早送りを解除します。

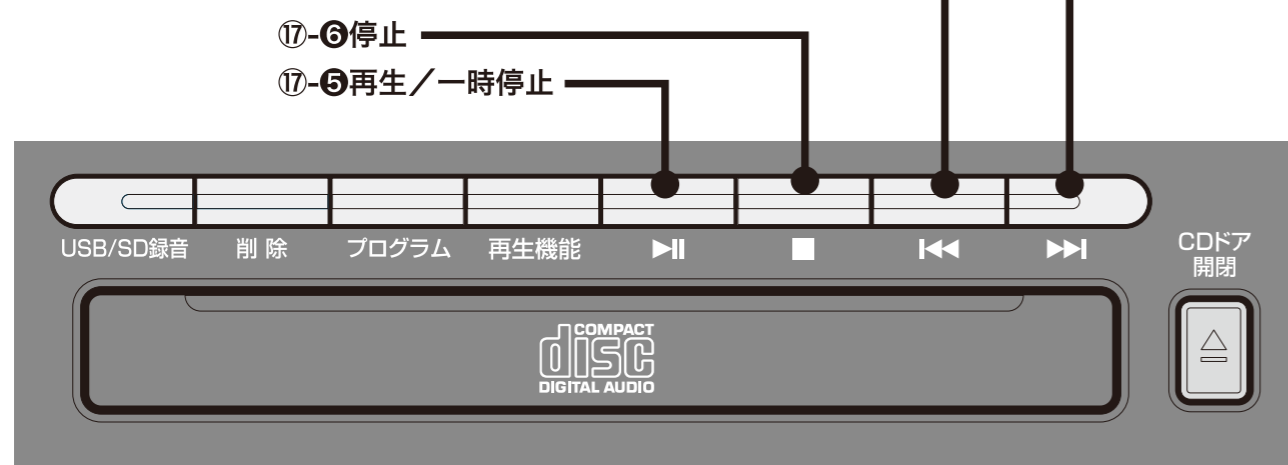


注意

※本機はノーマルテープ専用となります。
ハイポジション、メタルポジション等のテープは使用できませんので、予めご確認下さい。
また60分以内のテープを推奨しています。

メディア・プレーヤー(USB/SD)の基本操作

- ⑰-③次スキップ：単押し⇒次の曲の頭出し、長押し⇒早送り
- ⑰-⑦前スキップ：単押し⇒前の曲の頭出し、長押し⇒早戻し



⑰CD/USB/SD 操作部 拡大図 ▲

記録メディア内の音楽ファイルを再生する

本機または、パソコン等で録音・保存された記録メディア(USBメモリとSD/SDHCカード)内のMP3、WMAファイルを再生することができます。

- ⑩USB挿入口にMP3ファイルが保存されたUSBメモリを、もしくは⑨SD/SDHCカード挿入口に音楽ファイルが保存されたSD/SDHCカードを挿入します。
- ⑰-⑤USB/SDボタンを押すと②液晶表示部に「」と表示されます。もう一度押すと「」と表示されますので、再生したいメディアを選択します。
※記録メディアが挿入されていない場合、それぞれ「NO 」、「NO 」と表示されます。
- ②液晶表示部に“USB”もしくは“SD”のアイコンが点灯し、READINGと表示されます。
※記録メディア内に音楽ファイルが保存されていない場合、NO FILEと表示されます。
- “USB”もしくは“SD”のアイコンの横に“MP3”が点灯し、F | と表示されます。
- 自動的に再生が始まります。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑰-⑥停止ボタンを押します。



注意

※ファイル数の上限は 999 個です。

※本機のUSBメモリ/SDカード機能はMP3、WMA以外のファイル形式はサポート対象外となります。

再生機能(リピート/ランダム再生)

再生中に⑰-④再生機能ボタンを押す事でリピート(繰り返し)、ランダム再生を設定出来ます。

※フォルダリピート：

ディスク内に複数のフォルダがある場合、選択したフォルダを繰り返し再生する機能です。(フォルダ内の曲は収録順に再生します。)

ボタン	動作	画面表示
1回押す	一曲リピート	
2回押す	フォルダリピート	
3回押す	全曲リピート	ALL
4回押す	ランダム	RANDOM

プログラム再生

本製品は記録メディアに保存された音楽ファイルをお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。最大64曲まで記憶する事ができます。

- P.14 「■記録メディア内の音楽ファイルを再生する」の手順に従い、メディアを挿入します。
- メディアを読み込み、自動的に再生しますので、⑰-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- ⑰-③プログラムボタンを押します。②液晶表示部に“PROG”が点滅し「F | 」と表示されます。
- ⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押し好みの曲番号を選択します。
- ⑰-③プログラムボタンを押し、1曲目のプログラムを完了させます。
- 液晶表示部に“PROG”点滅し「F | 」と表示されますので、2曲目のプログラムを上記の手順に従い選びます。 ※以下同手順
- 設定が終わったら、⑰-⑤再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
※プログラム再生中は②液晶表示部に“PROG”が点灯しています。
- ⑭音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑰-⑥停止ボタンを押します。
- もう一度⑰-⑥停止ボタンを押すと、プログラム再生が終了し液晶表示部の“PROG”が消えます。
※記録メディアを外すと、記憶されたプログラムは消去されます。

【プログラム再生中の操作】

※停止中に⑰-⑤再生/一時停止ボタンを押すと再生、再生中に押すと一時停止します。

※⑰-③次スキップボタンを押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。

※⑰-⑦前スキップボタンを押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。

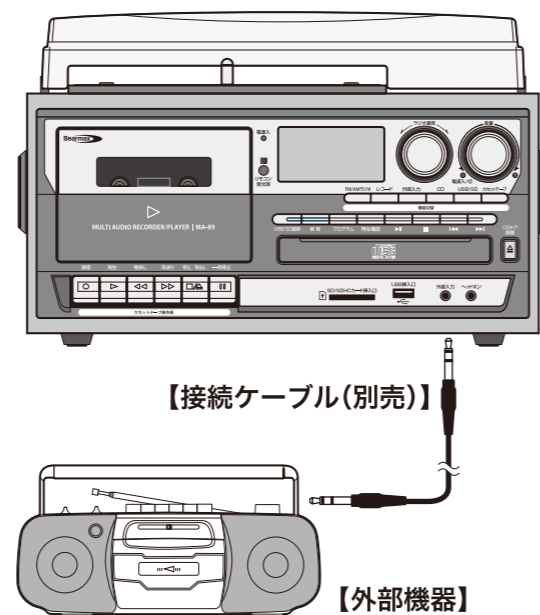
外部入力

本機では、外部入力端子を使い、CDプレーヤー/ラジカセ等、外部オーディオ機器の音楽を再生する事ができます。

また、これらの音楽をカセットテープ、SD/SDHCカード、USBメモリに録音する事ができます。

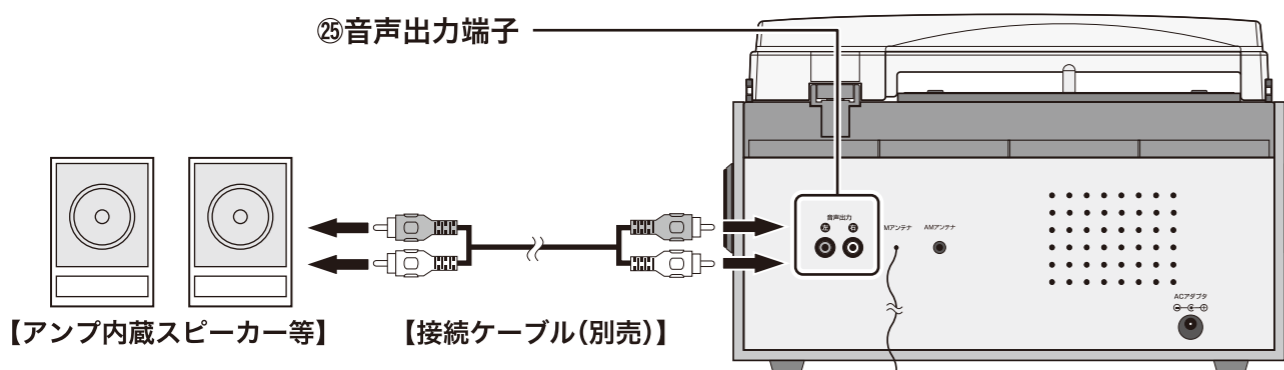
外部機器の音楽を聴く

- ①外部入力端子とお手持ちの外部機器を接続します。
※接続ケーブルは付属していません。
- ②機能切替部の②-③外部入力ボタンを押します。
- ③液晶表示部に **FLUX** と表示されます。
- 外部機器を再生すると、本機のスピーカーから音声が出力されます。
- ④音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する場合は、外部機器を停止します。



音声出力

本機では⑤音声出力端子にアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し、音声を出力出来ます。



※本機側端子の形式はRCAピン端子です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。

※接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声をお聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。

※音量の調整は接続した機器側で行ってください。

録音をする

カセットテープへ録音する

本機の【レコード】【CD】【ラジオ】【USB/SD】【外部入力】各機能の音声をカセットテープに録音する事が出来ます。

- ⑥カセットテープ操作部の⑥-⑤停止/取出しボタンを押し、④カセットテープドアを開けます。
- カセットテープを挿入します。
※カセットテープのテープ露出面を下にして挿入して下さい。
- カセットテープに録音したい音楽を再生します。
※再生の仕方は各機能の項目を参照して下さい。
レコード：P8、CD：P10、ラジオ：P12、USB/SD：P14、外部入力：P16
- ⑥-①録音ボタンを押します。⑥-①録音ボタンと⑥-②再生ボタンが同時に下がります。
- ⑥-⑤停止/取出しボタンを押すと、録音を終了します。
※テープ片面が巻き終わると録音が終了され、⑥-①録音ボタン/⑥-②再生ボタンが自動的に上がります。
※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。



注意

※本機はノーマルテープ専用となります。
ハイポジション、メタルポジション等のテープは使用できませんので、予めご確認下さい。
また60分以内のテープを推奨しています。

USB/SDへ録音する① ~レコード/カセット/ラジオ/外部入力~

ここではUSBメモリへの録音手順を説明します。SD/SDHCカードへ録音する場合は、“USBメモリ”の部分で“SD/SDHCカード”へ置き換えて下さい。



注意

※録音フォーマットはMP3(128kbps)に設定されています。他の形式は選択できません。
※ラジオの録音中は受信周波数の調整は出来ません。
※USB/SDが認識されない場合、パソコンでUSB/SDを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。
※録音可能な曲数は999ファイルです。
※録音速度は1:1です。

● 録音をする

- 1 ⑯機能切替部の各ボタンで録音したいモードへ切り替えます。
- 2 ⑩USB挿入口にUSBメモリを挿入します。
- 3 音楽またはラジオを再生させ、お好みの場所で⑰-①USB/SD録音ボタンを押します。
- 4 ②液晶表示部にWAITINGと表示されます。
※USBメモリとSDカードを両方挿入している場合、REC --“[USB]”またはREC --“[FOLD]”を選択することができます。⑰-⑦前スキップ/⑰-③次スキップボタンで選択し、もう一度⑰-①USB/SD録音ボタンを押してください。
- 5 “USB”アイコンと“REC”アイコンが点滅し録音を開始します。
- 6 録音を終了する場合は、⑰-⑥停止ボタンを押します。②液晶表示部に[END] RECと表示され、録音が終了した後、通常の再生モードに切り替わります。



※録音している音楽が終了しても、録音は終了されません。
録音を終了させる場合は必ず⑰-⑥停止ボタンを押してください。

■ USB/SDへ録音する② ～ オーディオCD ～

- 1 P.10「■CDを聴く」の手順に従ってお手持ちのCDを再生する準備を行います。
- 2 オーディオ形式のCDをトレイに入れます。
※参考：市販のCDはオーディオ形式です。
- 3 CDを読込んだ後、自動的に再生が始まりますので、⑰-⑥停止ボタンを押して音楽を停止してください。
- 4 ⑩USB挿入口にUSBメモリを挿入します。
- 5 一曲だけ録音する場合、⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押し、お好みの曲を選択します。
※全曲録音する場合は、曲選択の操作は必要ありません。
- 6 ⑰-①USB/SD録音ボタンを押します。
- 7 REC --“[ONE]”点滅または“[ALL]”点滅が表示されますので、⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押して希望の録音モードを選択します。
※REC-ONE :1曲録音 REC-ALL : 全曲録音
- 8 ⑰-①USB/SD録音ボタンを押すと、②液晶表示部にWAITINGと表示された後、RECのアイコンが点滅し録音が始まります。
※USBメモリとSDカードを両方挿入している場合、REC --“[USB]”またはREC --“[FOLD]”を選択することができます。⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンで選択をし、もう一度⑰-①USB/SD録音ボタンを押してください。
- 9 曲が終わると②液晶表示部に[END] RECと表示され自動的に録音が終了します。
- 10 途中で録音を終了したい場合は、⑰-⑥停止ボタンを押します。

■ USB/SDへ録音する③ ～ 音楽ファイルCD ～




注意

※MP3、WMA形式の音楽ファイルが入っているCDからUSB/SDへ録音する場合は、データのコピーとなる為、音声は出力されません。
※アナログ音源を記録メディアに録音する場合のフォーマットはMP3固定ですが、音楽ファイルのデータをコピーする場合、ファイルフォーマットは変更されません。

- 1 P.10「■CDを聴く」の手順に従ってお手持ちのCDを再生する準備を行います。
- 2 MP3またはWMA形式の音楽ファイルが録音されているCDをトレイに入れます。
- 3 CDを読込んだ後、自動的に再生が始まりますので、⑰-⑥停止ボタンを押して音楽を停止してください。
- 4 ⑩USB挿入口にUSBメモリを挿入します。
- 5 一曲だけ録音する場合、⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押し、お好みの曲を選択します。
※全曲録音する場合は、曲選択の操作は必要ありません。
- 6 フォルダに収録されている曲を録音する場合は、リモコンの⑩次フォルダ移動ボタン/⑩前フォルダ移動ボタンを押し、お好みのフォルダを選択して下さい。
※全曲録音する場合は、曲選択の操作は必要ありません。
- 7 ⑰-①USB/SD録音ボタンを押します。
- 8 REC --“[ONE]”点滅、“[FOLD]”または“[ALL]”点滅が表示されますので、⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンを押して希望の録音モードを選択します。
※REC-ONE :1曲録音 REC-FOLD :フォルダ録音 REC-ALL : 全曲録音
- 9 ⑰-①USB/SD録音ボタンを押すと、②液晶表示部にWAITINGと表示された後、RECのアイコンが点滅し録音が始まります。
※USBメモリとSDカードを両方挿入している場合、REC --“[USB]”またはREC --“[FOLD]”を選択することができます。⑰-⑦前スキップボタン/⑰-③次スキップボタンで選択をし、もう一度⑰-①USB/SD録音ボタンを押してください。
- 10 曲が終わると②液晶表示部に[END] RECと表示され自動的に録音が終了します。
- 11 途中で録音を終了したい場合は、⑰-⑥停止ボタンを押します。

■ USB/SDへ録音する④ ～ USBメモリ→SD、SD→USBメモリ～

ここではUSBメモリに録音されている音楽ファイルを、SD/SDHCカードへ録音する場合を説明します。SD/SDHCカードからUSBメモリに録音する場合は、“USBメモリ”の部分“SD/SDHCカード”に置き換えて下さい。


- 1 ⑯機能切替部の⑯-⑤USB/SDボタンを押し、②液晶表示部に「

注意

※録音されている音楽ファイルの状況によっては、曲が流れずにコピーだけを行う場合があります。録音終了後きちんと録音されたかをご確認下さい。
※アナログ音源を記録メディアに録音する場合のフォーマットはMP3固定ですが、音楽ファイルのデータをコピーする場合、ファイルフォーマットは変更されません。

■ 録音した音楽ファイルを削除する

ここではUSBメモリに録音された音楽ファイルを削除する手順を説明します。SD/SDHCカードに録音されたファイルを削除する場合は、“USBメモリ”の部分“SD/SDHCカード”に置き換えて下さい。

- 1 録音済みのUSBメモリを⑩USB挿入口へ挿入します。
- 2 ⑯機能切替部の⑯-⑤USB/SDボタンを押し、②液晶表示部に「

【削除モードについて】

削除したい項目に合わせて3つのモードから選択できます。
ファイルを削除する際は、必ずご希望にあったモードをお選びください。

削除モード“ONE”：1曲だけ消去したい時に選択します。2曲目以降を消去したい場合は、事前に⑰-⑦前スキップボタンまたは⑰-⑧次スキップボタンを押して、削除したい曲を選択して下さい。

削除モード“DIR”：カードもしくはメモリ内のフォルダ（F01,F02,,,F05等）のデータを削除します。

削除モード“ALL”：カードもしくはメモリ内のすべてのデータを削除します。削除後はNO FILEと表示されます。



注意

※PCで作成した音楽ファイルの曲名は表示されません。
※PCで保存した音楽ファイルは削除できない場合があります。
※削除した音楽ファイルは復元できませんので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

共通

症状	対処方法
電源が入らない	・ AC アダプタを家庭用コンセントに入れてください。
音が聞こえない	・ 音量を大きくして確認してください。
音がひずむ	・ 音量を小さくしてください。

CD

症状	対処方法
音飛びする	・ ディスクに汚れがある場合は、汚れを拭き取ってください。

ラジオ

症状	対処方法
雑音が入る	・ 周波数を正しく合わせてください。 ・ FM アンテナの向きを調節してください。 ・ AM ループアンテナの位置を調節してください。

カセットテープ

症状	対処方法
テープが入らない	・ テープの露出面を下にして入れてください。
テープが再生しない	・ テープの弛み ^{ゆる} を直してから使用してください。 ・ 劣化したテープは絡みやすくテープにダメージを与えますので、使用しないでください。 ・ 60 分以上のテープは使用しないでください。

SD カード /USB メモリ

症状	対処方法
認識できない	・ SD カード /USB メモリをパソコンでフォーマットしてください。

リモコン

症状	対処方法
操作できない	・ リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

主な仕様

製品共通	電源 (ACアダプタ)	DC12V 1.6A
	消費電力	16W
	最大外形寸法(約)	蓋閉時: 幅:330 × 高:205 × 奥:295mm
		蓋開時: 幅:330 × 高:415 × 奥:295mm
	本体質量(約)	3.2kg
	ACアダプタコード長(約)	1500mm
	製品材質	MDF合板、ABS樹脂
スピーカー	実用最大出力	3W + 3W
AM/FMラジオ	受信可能周波数	AM: 522 ~ 1629kHz
		FM: 76 ~ 108MHz
レコードプレーヤー	回転数	331/3、45、78 rpm
	レコード針材質	サファイア
カセットプレーヤー	対応テープ形式	Type1 (ノーマル) ※両面60分以内推奨
CDプレーヤー	再生対応ディスク	オーディオCD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	CD-DA、MP3: 64 ~ 320kbps、WMA
SD/SDHC	対応メディア	SD、SDHC CLASS4
	ディスク容量	128MB ~ 32GB (2GB推奨)
	再生対応ファイルフォーマット	MP3: 64 ~ 320kbps、WMA
	録音対応ファイルフォーマット	MP3: 128kbps 固定 ※アナログ音源録音時
USB	対応メディア	USBメモリ (USB2.0/3.0)
	ディスク容量	128MB ~ 16GB ※2~8GB推奨
	再生対応ファイルフォーマット	MP3: 64 ~ 320kbps、WMA
	録音対応ファイルフォーマット	MP3: 128kbps 固定 ※アナログ音源録音時

※CD-R、CD-RW、SD、SDHCカードおよびUSBメモリに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。 ※本機のUSB端子は「USB3.1」には対応していません。 ※SD/USBが認識されない場合、パソコンでSD/USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。 ※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。 ※本機で再生できないディスク コピーコントロールCD: 本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。 ※アナログ音源を記録メディアに録音する場合のフォーマットはMP3固定ですが、デジタルの音楽ファイルをコピーする場合、ファイルフォーマットは変更されません。 ※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。